

線形代数IIA (第9回・2022/5/9) 小テスト

在籍番号		氏名	
------	--	----	--

[1] (定義)  $V$  を線形空間とする.

任意の  $0 \neq v \in V$  に対して,  $v' := \frac{v}{\|v\|}$  とすれば,  $\|v'\| = \boxed{\phantom{000}}$  (1) となる.

$v$  からこの  $v'$  を求める操作を  $\boxed{\phantom{000}}$  (2) という.

[2]  $S \subset V$  が  $\boxed{\phantom{000}}$  (1) であるとは,  $\langle u, v \rangle = 0$  ( $\forall u, v \in S, u \neq v$ ) を満たすこと.

$S \subset V$  が  $\boxed{\phantom{000}}$  (2) であるとは,  $S$  は直交集合かつ  $\|u\| = 1$  ( $\forall u \in S$ ) を満たすこと.

[3] (定義)  $V$  を内積空間,  $\{v_1, \dots, v_n\} \subset V$  を正規直交集合,  $W = \text{Span}\{v_1, \dots, v_n\}$  とする.

$w_1 = \langle u, v_1 \rangle v_1 + \dots + \langle u, v_n \rangle v_n$  を  $u$  の  $W$  への  $\boxed{\phantom{000}}$  (1) といい,  $\text{proj}_W u$  とかく.

$w_2 = u - w_1 = u - \text{proj}_W u$  を  $u$  の  $W$  に関する  $\boxed{\phantom{000}}$  (2) という.

[4]  $\boxed{\phantom{000}}$  (1) の正規直交化法を用いて,

$\mathbb{R}^3$  の基底  $u_1 = (1, 1, 1)$ ,  $u_2 = (0, 1, 1)$ ,  $u_3 = (0, 0, 1) \in \mathbb{R}^3$  から  $\mathbb{R}^3$  の正規直交基底  $v_1, v_2, v_3 \in \mathbb{R}^3$  をつくる.

(実際に計算して, 得られた答えを学務情報システムに回答する)

(2) Step 1.  $v_1 :=$

(3) Step 2.  $v_2 :=$

(4) Step 3.  $v_3 :=$